

# 上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)を受けられる

( )様へ

検査予約日時 年 月 日 ( ) 時 分

【問診票】※検査の参考のため、当てはまる方を○で囲み必要な所をご記入お願いします。

1. これまでに胃カメラの検査を受けられたことはありますか？	はい ・ いいえ
・「はい」の場合、次のどの方法でしたか？	( 経鼻 ・ 経口 ) ( 鎮静剤あり ・ なし )
・その時の検査結果	<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 胃炎 <input type="checkbox"/> 胃ポリープ <input type="checkbox"/> 逆流性食道炎
	<input type="checkbox"/> 胃・十二指腸潰瘍 <input type="checkbox"/> 胃がん <input type="checkbox"/> 他 ( )
2. 歯医者さんの麻酔、胃カメラのノドの麻酔で気分が悪くなったことはありますか？	はい ・ いいえ
3. お薬のアレルギーはありますか？	はい ・ いいえ
4. 次の病気はありますか？	<input type="checkbox"/> 不整脈 <input type="checkbox"/> 狭心症 <input type="checkbox"/> 緑内障 <input type="checkbox"/> 前立腺肥大症
	<input type="checkbox"/> 褐色細胞腫 <input type="checkbox"/> 糖尿病 <input type="checkbox"/> 喘息 <input type="checkbox"/> てんかん
5. 血液をサラサラにするお薬を飲まれていますか？	はい ・ いいえ
・「はい」の方はお薬の名前をご記入ください。	( )
・わからない方は院長かスタッフにお薬手帳をお見せください。	
6. 血液透析を受けていますか？	はい ・ いいえ
7. 現在妊娠の可能性はありますか？	はい ・ いいえ
8. おなかの手術を受けられたことがありますか？	はい ・ いいえ
9. ピロリ菌の検査を受けたことがありますか？	
<input type="checkbox"/> 検査歴なし <input type="checkbox"/> 詳細不明 <input type="checkbox"/> ピロリ菌陰性	
<input type="checkbox"/> ピロリ菌陽性    → <input type="checkbox"/> 除菌成功 <input type="checkbox"/> 除菌失敗 <input type="checkbox"/> 判定せず <input type="checkbox"/> 未除菌	

※以下の注意事項に従っていただくようお願いします。

## 検査前日

前日の21時以降、絶食です。水分(水、、お茶)は通常通りで結構です。

お薬は通常通り内服してください。

## 検査当日

朝は絶食です。水分(水、お茶)は検査の2時間前は飲んで頂いて構いません。

15時以降の検査の方は、朝8時まで、うどんやおかゆなどを少量なら食べても大丈夫です。

朝の内服は6時まで内服してください。ただし、糖尿病のお薬・インスリン注射は当日朝中止してください。中止するお薬( )

鎮静剤を使用する場合は、当日の運転は自転車を含めできません。公共交通機関やタクシー、ご家族の運転でお越しください。

検査中はカメラから空気が入りますので、お腹まわりの締め付けのゆるい服装でお越しください。

当日の口紅・ネイルアートはお控えください。義歯をされている方は、検査直前に外していただきます。

検査当日は、保険証、診察券、お薬手帳、胃カメラの同意書、問診票(本用紙)をご持参ください。

※予約の変更・キャンセル等は早めにご連絡ください。庄内駅前しんかい内科消化器内科クリニック: 06-6318-8863

# 上部消化管内視鏡検査同意書

## 検査内容:

上部消化管とは、食道・胃・十二指腸を指します。これらの場所にできる病気(炎症・潰瘍・ポリープ・癌・食道静脈瘤など)を見つけ、適切な治療を考えるために行います。観察時に必要であれば小さな組織を採取して、顕微鏡検査で良性か悪性かを判断します(病理組織検査)。

## 方法:

### (経口)

胃の中を見やすくするシロップなどを飲んでから、喉をゼリー及びスプレーによる麻酔薬で麻酔します。

### (経鼻)

胃の中を見やすくするシロップなどを飲んでから、鼻に血管収縮剤と表面麻酔を細いチューブを用いて鼻の穴に塗布します。鼻の穴の状態によっては、鼻からの検査が施行できない場合があります。その場合は口からの検査に変更して行う場合があります。

## 検査の合併症および偶発症について:

検査の偶発症では、喉の麻酔薬など前処置薬によるアレルギーやアナフィラキシーショック、内視鏡検査に伴う誤嚥、粘膜の出血・裂創・穿孔などがあります。日本消化器内視鏡学会が調査した全国集計(2008-2012年)によると、その頻度は0.005%、死亡率は0.00013%でした。万が一、偶発症が発症した時は外科処置を含めた最善の処置をいたしますがそれらの治療は患者さんの保険診療になります。経鼻の場合は、鼻の穴を内視鏡が通過する際に痛みが時にあり、鼻出血をきたす事もあります(0.01%)。鼻出血は圧迫などで改善します。

偶発症が発生した場合は治療を行います。その治療費は患者様負担となりますのでご了承下さい。

## 鎮静剤使用について

鎮静剤を併用することによって、検査をより楽に受けて頂くことができます。通常、呼びかければ答えることができる程度の浅い鎮静で行います。検査中、血圧や呼吸状態をみる装置を身体に取り付け、効果や全身状態を確認しながら薬剤を投与します。ただし、検査後の安静の時間を必要とします。

鎮静剤の使用でより苦痛の少ない検査が施行できますが、いくつかの注意点があります。

1. 鎮静剤には、呼吸が弱くなったりや血圧低下がみられることがあります。その偶発症の頻度は、日本消化器内視鏡学会の調査(2008-2012年)では0.0013%で、死亡の頻度は0.000022%と報告されています。

2. 逆行性健忘があり、検査前後の出来事を忘れてしまうことがあります。検査後、ふらつき、眠気がでる可能性があります。検査当日の車・バイク・自転車の運転は事故につながるため禁止としています。検査当日に、車・バイクをご自身で運転してこられた場合は鎮静下での検査はいたしません。また、来院時に虚偽の申請をされたり、交通事故が生じた場合は、当院は一切の責任はとりません。

3. 患者様の身体状況からお付き添いが必要であると判断した場合、又ご高齢者には安全のため、原則お付き添いをお願いしています。お付き添いがない場合には、鎮静剤の使用をお断りすることがあります。

## 抗血栓治療法を受けておられる患者様について

脳梗塞や心筋梗塞など、血栓によっておこる病気を予防するために、抗血栓薬が使われます。すべての抗血栓薬は血を固まらせにくくする作用をもっており、一度出血すると血がとまりにくくする性質をもっています。そのため、当院では抗血栓薬、抗凝固剤内服中の患者様は、ポリープ切除などの一部の処置、経鼻カメラの使用は出来ません。

以上の事に関して内容を理解しましたので、その実施に同意いたします。

**鎮静剤の使用を(希望する・希望しない)**

**(経口内視鏡・経鼻内視鏡)を希望する**

令和 年 月 日 患者様または親権者様の署名 (続柄)

緊急時の連絡先: お名前 (続柄) 電話番号

同意書取得者: 新海 数馬